

PayPay投資信託インデックス 世界株式

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第1期(2024年7月16日決算)

作成対象期間(2023年6月28日～2024年7月16日)

第1期末(2024年7月16日)	
基準価額	13,216円
純資産額	233百万円
騰落率	32.2%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

受益者の皆様へ

平素は「PayPay投資信託インデックス 世界株式」(以下、「当ファンド」という場合があります。)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期決算を行いません。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス(配当込み、円ベース)に概ね連動する投資成果を目指して運用を行っております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行いません。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

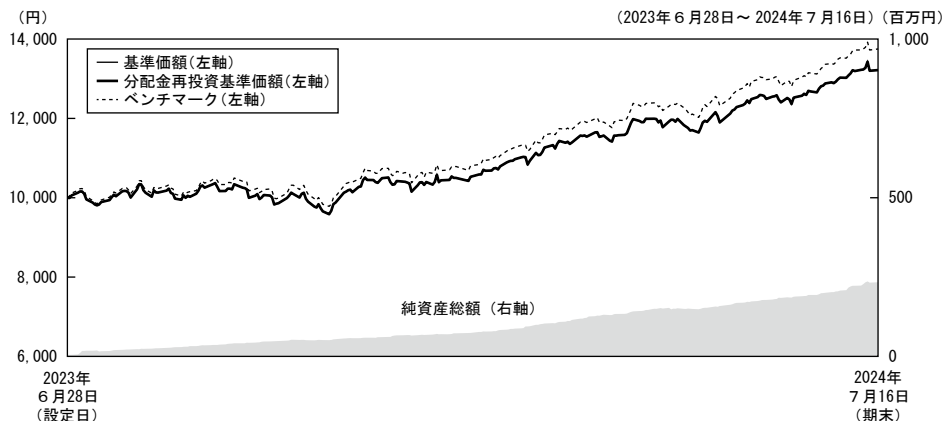
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

《運用経過》

【基準価額等の推移について】



設定日：10,000円

第1期末：13,216円（既払分配金 0円）

騰落率：32.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なった結果、ベンチマークが上昇したことなどから基準価額は上昇しました。詳しくは【投資環境について】をご参照ください。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* ベンチマークは、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

※ FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）は、原則として基準価額計算日前日付のFTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、基準価額計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

● 「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」について
本ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。）、ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。ライセンス供与者は、「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用およびいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。本指数はFTSEによって編集および計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第1期		項 目 の 概 要
	(2023. 6. 28~2024. 7. 16)		
	金 額	比 率	
信託報酬	7円	0.060%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,022円です。
（投信会社）	(2)	(0.021)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(2)	(0.021)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
その他費用	154	1.396	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(154)	(1.396)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	161	1.456	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

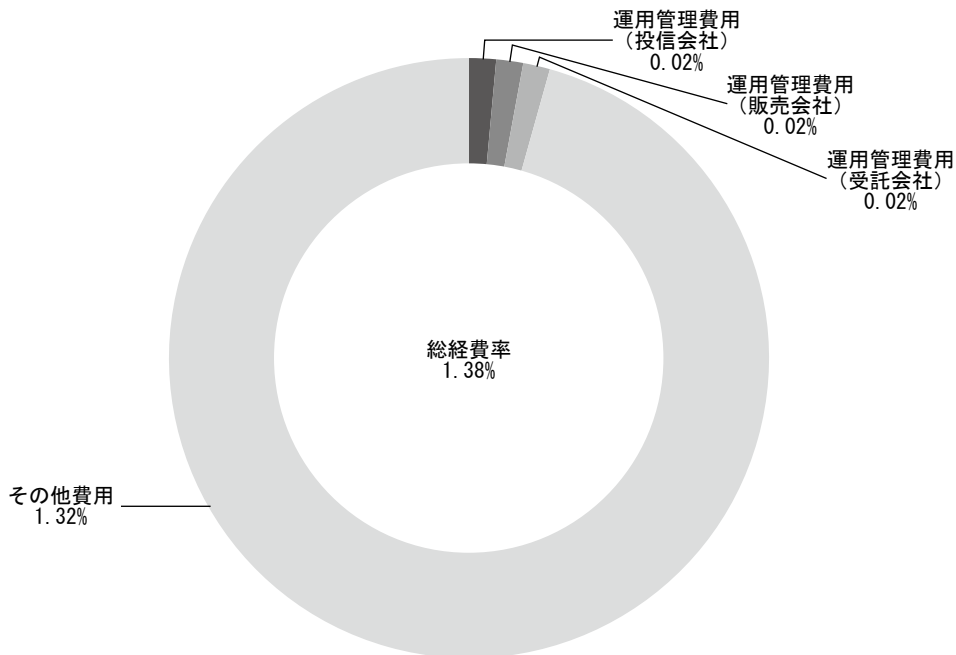
* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



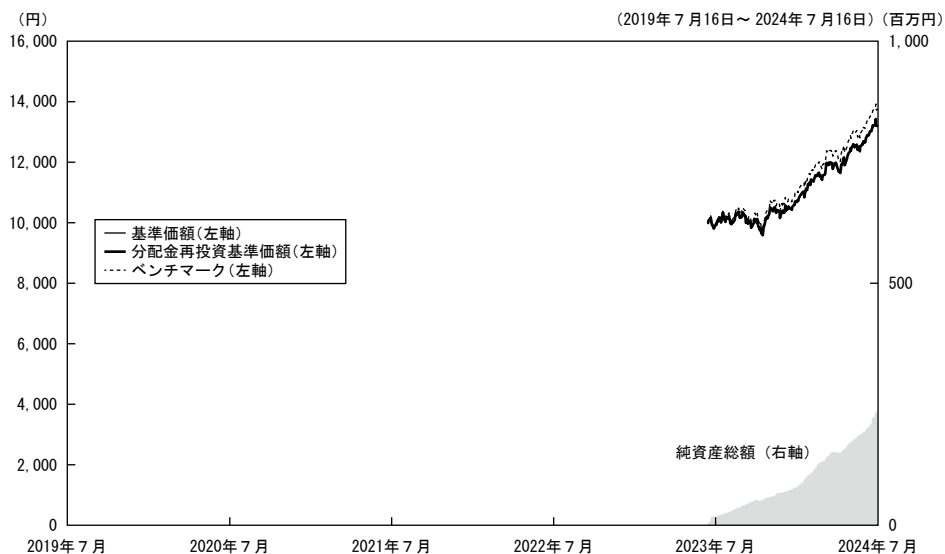
*費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値です。

*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

【最近5年間の基準価額等の推移について】



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。
- * 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- * ベンチマークは、F T S E グローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は1ページをご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

		2019年7月16日	2020年7月15日	2021年7月15日	2022年7月15日	2023年7月18日	2024年7月16日
基準価額	(円)	—	—	—	—	—	13,216
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	—	—	—	—	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	—	—	—	—	—
ベンチマーク騰落率	(%)	—	—	—	—	—	—
純資産総額	(百万円)	—	—	—	—	—	233

* 当ファンドの設定日は2023年6月28日であり、一印は表示可能な値がないことを示しております。また、2023年7月18日は当ファンドの決算日ではないため、表示しておりません。

【投資環境について】

世界の株式市場は、米国国債の格下げや原油相場の上昇などを背景に2023年10月にかけて上値の重い動きとなりました。その後は、米国の長期金利の低下を受けて反発に転じ、米国景気がソフトランディング（軟着陸）に向かうとの見方などを背景に上昇基調で推移しました。中東を巡る地政学的リスクの高まりや米国の利下げ観測の後退などが重石となり、2024年4月には下落する場面も見られましたが、米欧の弱い経済指標やインフレ指標の発表を受けて利下げ期待が高まったことや米連邦準備理事会（FRB）高官によるハト派的な発言が相次いだことなどを背景に期末にかけて底堅い動きとなりました。為替市場は、日米の金利差に加えて本邦投資家の海外投資拡大に伴うドル買い需要の増加などを背景に円安ドル高基調で推移しました。

【ポートフォリオについて】

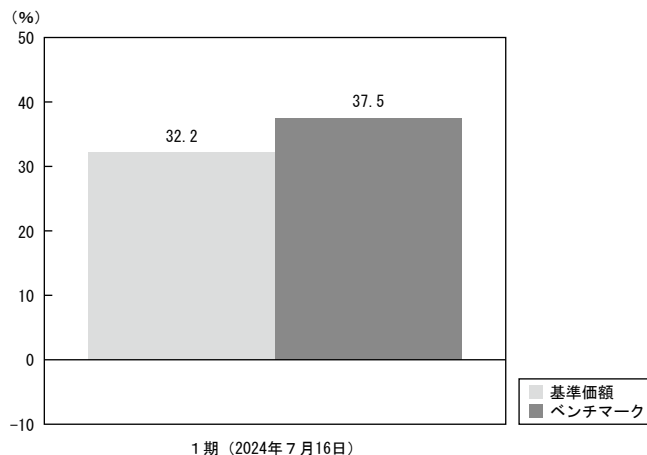
当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。

当期も、運用の基本方針に則り、投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないました。

※当ファンドにおいて、世界各国の株式への投資は、上場投資信託証券であるバンガード・トータルストックマーケット・ETF、SPDR ポートフォリオディベロップドワールド（米国を除く）・ETF、SPDR ポートフォリオエマージングマーケット・ETFを通じて行ないます。

バンガード・トータルストックマーケット・ETFは米国の企業の株式、SPDR ポートフォリオディベロップドワールド（米国を除く）・ETFは先進国（米国を除く）の企業の株式、SPDR ポートフォリオエマージングマーケット・ETFは新興国の企業の株式を主要投資対象とします。

【ベンチマークとの差異について】



当期の当ファンドの基準価額の騰落率は+32.2%、ベンチマークの騰落率は+37.5%となりました。その他費用（保管費用）や信託報酬等がマイナス要因となりました。また、保有有価証券とベンチマークとの騰落率の差異もかい離要因としてあげられます。

【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第1期
	2023年6月28日 ～2024年7月16日
当期分配金(税込み)	－円
(対基準価額比率)	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,216円

* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

今後も投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なってまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

《お知らせ》

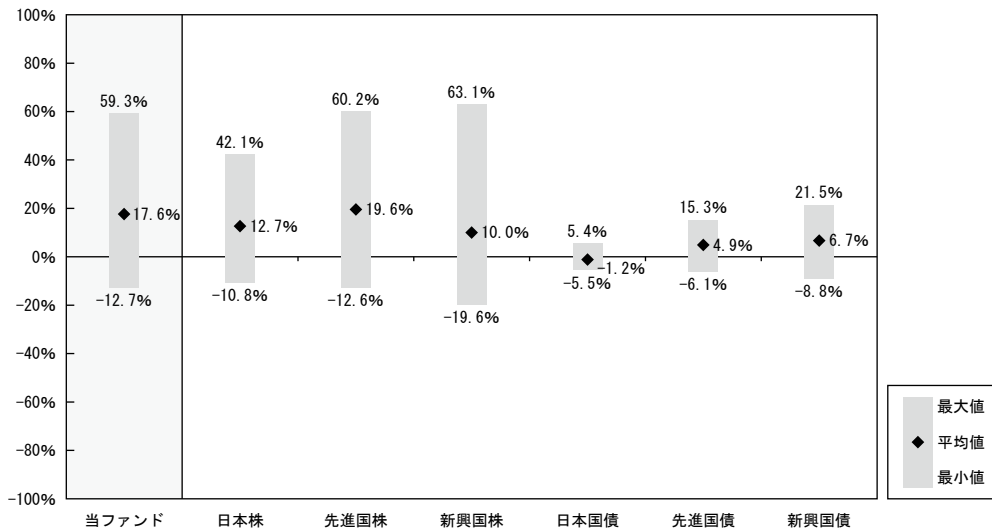
投資制限の追加（デリバティブ取引について、つみたてNISAの対象要件を満たすことを明確にするもの）に係る投資信託約款の変更を2023年8月15日付で行ない、同日付で適用いたしました。

《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型
信託期間	無期限です。ただし、受益権の口数が10億口を下ることとなった場合もしくはFTSEグローバル・オールキャップ・インデックスが改廃された場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。
主要投資対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいい、この投資信託においては、上場投資信託証券とします。）に投資を行ないます。
運用方法	①投資信託証券への投資を通じて、実質的に世界各国の企業の株式に投資を行ない、FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス（配当込み、円ベース）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。 ②運用実績等を勘案した上で投資信託証券の選定等を行ないます。 ③投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保ちます。 ④外貨建資産（投資信託証券を通じて実質的に組入れる外貨建資産を含みます。）については、原則として為替ヘッジを行ないません。 ⑤市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
分配方針	①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。

〈 参 考 情 報 〉

◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2019年7月から2024年6月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては、過去5年分のデータがないため、算出可能な期間についてのみ表示しています。ファンドの年間騰落率がない期間についてはベンチマークの年間騰落率で代替して表示しております。

・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

《ファンドデータ(2024年7月16日現在)》

【当ファンドの組入資産の内容】

■組入(上位)銘柄

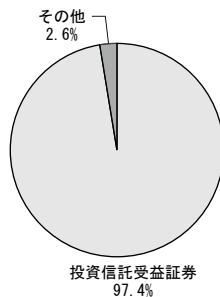
(組入銘柄数：3銘柄)

銘柄名	比率(%)
バンガード・トータルストックマーケット・ETF	61.2
SPDR ポートフォリオディベロップドワールド(米国を除く)・ETF	26.7
SPDR ポートフォリオエマージングマーケット・ETF	9.6

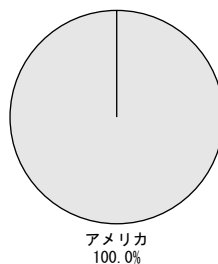
*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

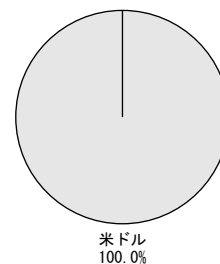
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



*資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、投資信託受益証券全体に対する評価額の割合です。

【純資産等】

項目	第1期末
	2024年7月16日
純資産総額	233,638,367円
受益権総口数	176,782,403口
1万口当たり基準価額	13,216円

*当期中における追加設定元本額は253,850,964円、同解約元本額は82,068,561円です。